

前書き

mimensys

前書き

現在執筆中であり、そちらに注力しているので、こちらに書くアイデアが未だに降りて来ない。

ただし現在書いている物の世界観を継承する、スピンオフになる事は確かだ。

アイデアだけはある。

しかしそれを書き始めてしまうと、本題執筆が疎かになってしまわないか非常に危惧しているのである。

とは言え別の話しを書くと、アイデアが次々に降りて来る現象も体験しているので、ここに書いて行く事も面白いのではないかと思っている。

書き始めるのはいつになるのか判らない。

今日明日中なのかも知れない。

一ヶ月後なのかも知れない。何とも言えない。

本題に障害のない脳味噌が活性剤を求めている時に書くのかも知れない。

取り敢えず本題の超前章をここにコピーする。

「笑つ」
地親みつ私
球善、た
？使そさち
」節れりは
団ま気あ
代でなな
表滞くた
こ の 公 式 会 談 の